



磐田市歴史文書館

もんじょかん

文書館だより

令和4年3月28日

第 19 号

イメージキャラクター「文字朗」

磐田市教育委員会教育部文化財課 歴史文書館

寄贈資料の紹介

令和3年度中に寄贈された資料の一部を紹介します。

「柴田家文書」(城之崎)

本年度4月に寄贈された柴田家文書は、近世・近代からなる文書群であり、総点数555点のうち、俳諧に関する資料を多く含んでいます。



江戸時代から近代にかけて、多くの俳人が活躍した磐田では、教養娯楽の筆頭として多くの人々が俳句に親しんでいました。

柴田家に残されていた文書群からは、磐田の人々が俳諧を盛んに行い、多くの俳人と交流を持っていたことが窺えます。

←柴田家文書「俳諧一枚摺」

新年の挨拶状として盛んに作られ、知人に贈られた。

磐田市の俳諧については、平成30年開催の歴史文書館第20回企画展「遠州の俳諧～野口在色三百回忌を迎えて～」で紹介しています。俳諧についてご興味をお持ちの方は、第20回企画展図録や「文化財だより第153号」をご覧ください。

「柴田家文書」のほか、「津倉家文書(廻船問屋資料)」、「門奈家文書(近世・近代資料)」等の資料が新たに寄贈されました。寄贈された資料は、順次整理作業を進めています。

歴史文書館運営審議委員会

令和3年度第1回目の運営審議委員会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、個別・文書による意見の聴取という形で行いました。

第1回目の内容は、令和3年3月31日現在の、①非現用文書の受入れ選別状況(公文書収蔵件数40,729件)、②資料収蔵件数(収蔵件数195,423件)、③企画展の実施結果(入場者数723人)、④レファレンスの利用状況(150件の利用と主な内容)を報告しました。また、各種事業実施状況の報告では、交流センター主催講座への講師派遣、巡回展の実施、本年度事業計画の検討などを配布文書によって報告しました。事業計画では、第25回企画展の実施計画・内容について意見をいただきました。

また、令和3年度第2回目の運営審議委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、開催を中止としました。

第25回企画展・歴史学習会



第25回企画展「歴史資料から見た磐田の近代教育～校務日誌・沿革誌から探る～」を、11月1日（月）から12月17日（金）まで開催し、開館33日間で149の方に観覧いただきました。

また、令和4年1月8日（土）から16日（日）まで、会場を中央図書館に移して開催しました。開館8日間で701の方に観覧いただきました。9日（日）には中央図書館2階視聴覚ホールで、東京福祉大学准教授（当館運営審議会委員）の和崎光太郎氏による歴史学習会「学校に眠るたからもの」を開催しました。新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、事前に予約された40余名の方が参加されました。専門家の視点から語る学校に残された資料の価値について、ご自身の経験を基にお話いただきました。

中央図書館での展示では、歴史文書館での企画展内容に「磐田北小学校ジオラマ」や「酒井の太鼓」など学校ゆかりの資料を合わせて展示しました。特に、本年度文化財課に寄贈され、本企画展でお披露目となった「磐田北小学校ジオラマ」には多くの入場者が注目するなど、磐田の教育について様々な思いを馳せてご覧いただく展示となりました。

当館では、個人や自治会などの所有資料も収集しています。保存に迷われていましたら、ご連絡ください。寄贈された資料は“〇〇家所蔵文書”として大切に保存し、皆様の郷土研究や町づくりに役立つように公開させていただきます。



発行：磐田市教育委員会教育部 文化財課
磐田市歴史文書館

住所：〒438-0292 磐田市岡729-1
竜洋支所内

電話：0538（66）9112

F A X：0538（66）9722

Mail：chiikishi@city.iwata.lg.jp

休館日：土日・祝日・年末年始

開館時間：午前9時～午後4時30分